

## 地域共創センターから都市みらい創造戦略機構へ

附属地域共創センターは、今日まで下関市を中心とする地域への社会貢献、研究による貢献、そして、住民の学びの場の提供に努めてきましたが、2021年度より「都市みらい創造戦略機構」としてその事業を継続し、加えて産業界や行政、高等教育機関をネットワーク化し、地域の情報バンクを目指すとともに的確な情報、研究成果を地域に還元し、さらに学生のキャリア形成にも役立て、将来にわたるキャリア支援の機能を持ち得る組織として誕生します。地方の力を高め、地方の自立した経済を確立し、元気な地方がよみがえるためには、公立大学である下関市立大学が地元下関の市民、産業界、行政、他高等教育機関と連携し、地域が求める人材ニーズを的確に把握し、地域で活躍できる人材の育成が必要であります。

下関市立大学は、地域の課題を把握し、解決のヒントを提供すること、地域が求めるタイムリーな情報を提供することも大学の使命であると考えています。

副学長(地域貢献担当) 砂原 雅夫

2021  
Vol.13

# 地域共創センターニュースレター

下関市立大学附属地域共創センターは、大学人(法人職員と学生)と地域の方々との協働で地域資産を掘り起こし、地域課題を見出して、その課題解決に取り組みます。

あいさつ

昨年(2020年)から、世界(人類)にとって非常に危機的な状況に見舞われました。新型コロナウイルスという目に見えないものとの共存を各国・地域では、余儀なくされています。とりわけ、わが国では今年(2021年)1月から、人口が集中している大都市部を中心に「緊急事態宣言」が発令され、生活における「行動制限」を強く意識せざるを得ない状況に陥っています。一方で地方においても、まったく人ごとではなく、地域を支える飲食業、観光関連業などを中心に様々な業種・職種において、甚大な影響が懸念されています。また地域の医療や福祉施設における人材不足は喫緊の課題であり、より「地域社会の連携」が問われる年になると考えられます。

さて、本学附属地域共創センターは、2020(令和2)年度をもって廃止され、次年度より新しい組織である「都市みらい創造戦略機構」の創設により、新たな機能を担う組織へと改編されます。近隣地域との連携、人的交流、地域経済、地域行政、地域文化、地域情報、地域医療・福祉等のあらゆる分野・カテゴリーにおいて、広域連携が問われているなかで、これまでと同様に「地域連携」や「地域が抱える課題」について取り組む専門部署としての位置づけは変わることはありません。

最後に、これまで本学附属地域共創センターへ多大なご支援をいただき、誠にありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

下関市立大学附属地域共創センター  
センター長 柳 純

### Information 地域調査研究部門

#### 1. 地域共創研究

■本学教員から企画を募集し、テーマなどを審査して採択しています。その成果は成果報告会で公開されるとともに、定期刊行物『地域共創センター年報』に論文として掲載され、また山口県大学共同リポジトリ『維新』にてWeb公開されます。

#### 2. 関門地域共同研究

■北九州市立大学との共同研究です。行政区間を超えた「関門一体」を研究対象にする、というユニークな共同研究です。両市と双方の市立大学の思惑が一致してこの研究会の結成となりました。必要に応じて地元や近隣から委嘱研究員を招聘しています。毎年度、その成果を年刊『関門地域研究』として公刊するとともに、成果報告会を開催しています。

#### 3. 国際共同研究

■旧産業文化研究所時代には、本学と青島大学にて学術共同研究を実施していました。現在では海外提携校との共同研究の進め方を検討しています。

#### 4. 自主調査研究

■センター発足にあたり、調査研究部門のスタッフは地域調査研究のコーディネーター集団に衣替えしました。コーディネーターが企画し、調査研究プロジェクトを提案します。調査研究スタッフを編成して、調査研究プロジェクトの進行を補佐します。

#### 5. 受託調査研究

■地域課題について調査研究の依頼があれば、コーディネーター集団が始動します。また、プロジェクト化の可能性を図り、対応いたします。

#### 6. 自主資料収集

■さまざまな発行物や下関市内商工会文書等の資料収集を進めていきます。

### Information 地域教育活動部門

2021年度開講予定の講座です。企画が出来次第、ご案内します。

#### 市民大学

●公開講座 ●開放授業

●出前講座

スケジュールの詳細は決定次第ホームページでお知らせします。

### Information アーカイブ部門

地元下関の産業、文化、歴史などに関する史資料の収集、保管、公開をすることで地域貢献をしています。特徴的なのは下関を代表する水産資源である、鯨やふぐの資料を集めた鯨資料室ふぐ資料室を設置していることです。事業者や個人から寄贈していただいた貴重な資料や購入した関連書籍を公開したり、かつて捕鯨に携わった方から聞き取り調査を行いそれを映像化するなど、時の流れとともに散逸していく資料を収集し、地元の方にも余り知られていない情報を留め、後世に残していくこと。それがアーカイブ部門の目的です。今後も様々な情報をシンポジウムや広報誌などで発信していきながら、地域に貢献していきます。

#### 出版物のご案内



地域共創センター年報 Vol.13



関門地域研究 Vol.29



地域共創センターニュースレター Vol.12



資料室だより Vol.9

#### スタッフ紹介

##### □地域調査研究部門 研究員

難波 利光 部門長  
佐藤 裕哉  
佐藤 隆  
嶋田 崇治  
福本 純子

##### □地域教育活動部門 コーディネーター

土屋 敏夫 部門長  
川野 祐二  
重田 美咲  
三科 仁伸  
福本 純子

##### □アーカイブ部門 研究員

松本 貴文 部門長  
福本 純子

## 地域共創センター ニュースレター

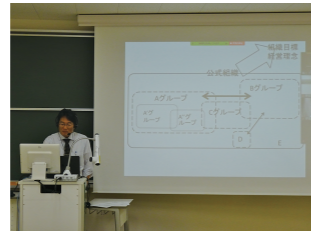
発刊◆2021年3月31日 発行◆下関市立大学附属地域共創センター(本館Ⅱ棟2階)  
〒751-8510 山口県下関市大学町二丁目1-1 MAIL◆chiikikyo@shimonoseki-cu.ac.jp  
TEL◆083-254-8613 FAX◆083-253-1622 URL◆https://www.shimonoseki-cu.ac.jp

公立大学法人  
下関市立大学  
Shimonoseki City University  
Shimonoseki City University Institute for Collaborative Community Development Newsletter

●市民大学公開講座

※コロナ禍のため、従来の対面式の講座ではなく、オンライン形式で公開講座を開催しました。

《インフォーマルグループと経営》(全1回 水曜日)  
日 時：2020年10月14日 18:30～20:00  
講 師：川野 祐二 教授



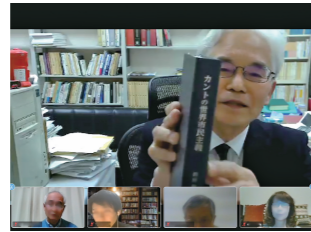
《シニアのための英語講座》(全1回 木曜日)  
日 時：2020年10月22日 18:30～20:00  
講 師：川波 洋一 学長



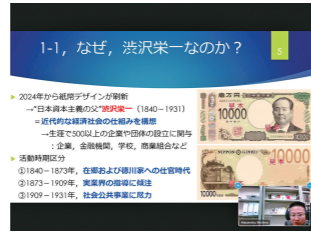
《人と野生動物の社会学》(全1回 水曜日)  
日 時：2020年11月18日 18:30～20:00  
講 師：福本 純子 特任教員



《西田教授の倫理学ゼミナール(終)》(全1回 月曜日)  
日 時：2020年12月7日 18:30～20:00  
講 師：西田 雅弘 教授



《今こそ知りたい渋沢栄一》(全1回 火曜日)  
日 時：2020年12月15日 18:30～20:00  
講 師：三科 仁伸 准教授



●開放授業

コロナ禍のため、開放授業は実施しませんでした。

●下関市生涯学習まちづくり出前講座

コロナ禍ということもあり、実施できませんでした。

●2020年度 地域共創(産官学)研究報告会(オンライン)

日 時：2020年10月9日(金) 18:30～20:30

報告1：【地域共創研究】  
「酒造を活用した観光まちづくり  
—久留米市城島・東広島市西条—」

報告者： 難波 利光 教授  
共同研究者：三科 仁伸 准教授



報告2：【産官学研究】  
「看護・介護職の離職要因に関する研究」

報告者： 難波 利光 教授  
共同研究者：田中裕美子 教授

●関門地域共同研究会 成果報告会

コロナ禍のため、やむなく中止となりました。



●産官学シンポジウム(オンライン)

日 時：2021年3月16日(火) 18:30～20:00

場 所：Zoomによるオンライン開催  
タイトル：「下関酒造による下関産農産物の生産とブランド化」

コーディネーター：難波 利光 下関市立大学経済学部教授  
・地域共創副センター長

内 容：はじめに 開会挨拶・問題提起

第1部 各シンポジストによる報告

- I：三科 仁伸 下関市立大学経済学部准教授  
「下関市における小規模酒造業者の経営展開  
—下関酒造を事例として—」
- II：内田 忠臣 下関酒造株式会社代表取締役  
「下関酒造による取り組み」
- III：藤永 清一 山口県農業協同組合下関統括本部総務管理部長  
「下関産農産物のブランド力強化」
- IV：岡山 学 下関市農林水産振興部農業振興課長  
「下関産農産物の生産振興」

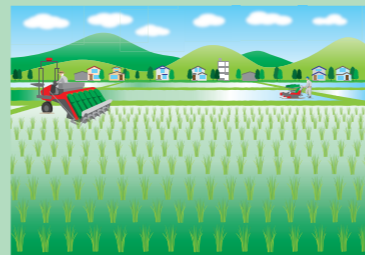
第2部 シンポジスト対談

おわりに まとめ 閉会挨拶



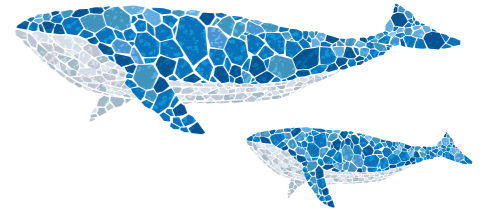
●地域インターンシップ関連

地域インターンシップは実施していません。  
(コロナ禍のため、学生の引率ができませんでした。)



●下関くじらサマースクール

コロナ禍のため、やむなく中止となりました。



●鯨資料室聞き取り調査収録

コロナ禍のため、収録を取りやめました。

●鯨資料寄贈

有吉 治洋 寄贈  
寄贈日：2020年4月1日(水)  
寄贈品：鯨包丁、鯨のポスター

波田 兼昭 寄贈  
寄贈日：2020年6月12日(金)  
寄贈品：「中部幾次郎翁銅像除幕記念(写真)(昭和26年)」、  
「第七十二大洋丸竣工記念(花瓶)」、  
「第七十三大洋丸竣工記念(文鎮)(昭和37年)」、  
「第十二関丸進水記念(捕鯨船の置物)」、  
鯨の歯で作ったパイプ、バット

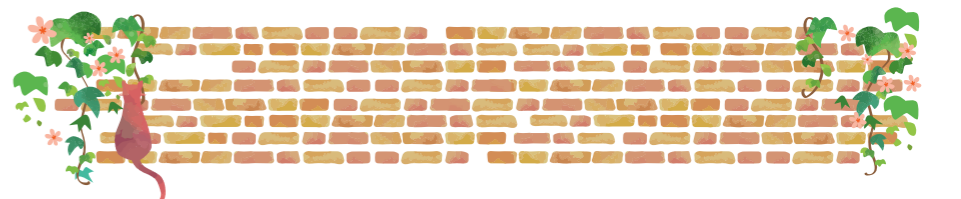


●新春・産官学オンライン講演会  
「これからの情報化社会を生きるために  
～マーケティングリサーチと統計学を例に～」

日 時：2021年1月22日(金) 10:40～12:10

場 所：Zoomによるオンライン開催  
テーマ：「これからの情報化社会を生きるために  
～マーケティングリサーチと統計学を例に～」

講演者：工藤 公久 (GMOリサーチ株式会社)  
司 会：柳 純 下関市立大学経済学部教授  
・地域共創センター長



※氏名称略



地域共創センターは都市みらい創造戦略機構に組織を改編します

都市みらい創造戦略機構とは、地域の産業活動及び地域社会の向上に寄与するため、地域の課題について産業界や行政等の学外機関と情報を共有し、学術的観点からその課題解決にあたるとともに、産業界等地域の求める人材の把握及びその育成に努め、本学の学生が卒業後も将来にわたりいきいきと活躍できるよう学生のキャリア形成を的確に支援する機構です。

